

梅之木通信

【週末縄文人の会】

第51号 2025.6.22 発行

3号棟完成式、お待ちしております！！

昨年12月に梅之木通信50号を発行してから半年という時間が過ぎてしまいました。

3号棟、4号棟、5号棟と竪穴住居建設も手慣れてくると新しい変化に乏しく、記事にするような興味深い出来事でもないとなつて後回しになり通信の発行もご無沙汰してしまいました。

3月から再開された3号棟の修復作業も、最初は順調だったものの、先月あたりからは週末ごとに雨に祟られなかなか予定通りに進みません。当初予定していた5月末の完成式も一か月遅らせて6月末にはなんとか間に合いそうな状況までこぎつけることができ、やっと一安心といったところです。

❖ 2025年3月作業再開



垂木と横木がきれいに組まれているこの状態が一番美しいので多くの見学者の人たちにも見てもらいたいところです。展示物として、この状態を見せたいという思いはあるものの、風雨にさらされれば材木も紐も短期間で痛んでしまうことも理解でき悩ましいところです。

枝の曲がり具合を利用するため、材木をとっかえひっかえ、右左を替えてみたりと、縄文人たちが一生懸命に知恵を絞りながら、また多くの船頭に意見をもらいながら出来上がった成果が見えなくなってしまうのは、なんとも寂しいものです。

❖ スケルトン状態の骨組みに杉皮を張ります



冬休みの間は、ハヶ岳の風にも杉皮が飛ばされないよう杉皮を取り付けないままにしておいた状態からの再開。



今までの経験から手慣れたものでどんどん作業が進みます。

外側、内側からの共同作業で行う息の合ったコンビも現れて一日の作業でほぼ半分程度の取り付け作業が進みました。

❖ ビニールシートで覆います



一枚のシートが大きく、さらに曲面の上を平面のシートで覆おうとするので、それぞれの思いが違うとなかなかうまくいきません。



全体をシートでカバーして雨の浸水を防止しますが、なんとも無粋な情景なので早く隠してしまいたい思いに駆られます。

❖ 土をかぶせてビニールシートを覆います

以前の3号棟にかぶせていた土や、近くから土を運んでビニールシートが見えなくなるように上からかぶせます。

土が流れ落ちてしまわないように、ビニールシートの上に木を組んで置くことも重要なポイントであることが分かってきました。



❖ 更にその上に芝や雑草を乗せます

周辺に生えている芝などの草を土の上に乘せて根を生やしてもらい盛った土が流れおちてしまうのを防ぎます。これも最近の知恵で住居維持の方法もいろいろ工夫を重ねています。



★ 3号棟完成式

別途案内文がありますが、6月28日（土）10：00～ 3号棟の完成式を予定しています。締め切りは26日（木）までですので、申し込みがまだの人は早急に申し込みをしてください。南（代表）；メール shin.mnm@nifty.com 電話 080-1195-4272

★ 7月以降の作業予定

3号棟の改修作業終了後は、不具合個所の修理程度であり大きな作業は予定されていません。しかし、梅之木遺跡に来る機会が無くなってしまうと寂しく思う人も多く（ほんと？）毎週土曜日9：00～11：00、3号棟で『うめのきカフェ』を開店することになりました。時には、メンテナンス作業があるかもしれませんが、基本的には毎週3号棟に集まってコーヒーを飲みながらおしゃべりする場所にしたいと思いますので、今まで同様梅之木遺跡までお越しください。